

(6) 東海



東海地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費はこのところ弱含んでいる。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（ は上方に変更、 は下方に変更）。

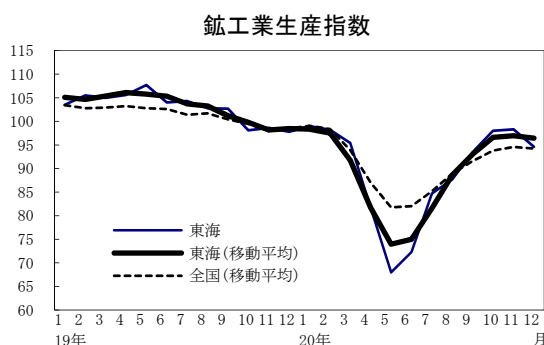
前回からの主要変更点

	前回（令和2年12月）	今回（令和3年3月）	
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが <u>続いているものの、一部に弱さがみられる</u>	↓
個人消費	持ち直している	<u>このところ弱含んでいる</u>	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直している。

10-12月期の鉱工業生産は、「輸送機械」は乗用車、自動車部品等が増加したこと、「汎・生産・業務用機械」は金属工作機械等が増加したこと等により、前期比9.4%増となった。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東海の最新月は速報値。
 2. 全国及び東海の太線は中心3か月移動平均。
 直近月は2か月平均。
 3. 東海は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7-9 月期	10-12 月期	10月	11月	12月
輸送機械	40.1	49.8	13.3	6.2	▲0.2	▲6.9
電子デバイス、電気・情報通信	13.3	5.4	6.9	5.2	0.2	▲1.4
石油・石炭、化学、プラスチック	13.0	4.6	4.8	3.8	▲5.0	1.2
汎・生産・業務用機械	11.2	▲2.5	9.1	2.9	9.4	▲2.9
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	6.4	21.2	11.5	4.0	2.7	▲3.2
鉱工業	100.0	19.8	9.4	4.8	0.3	▲3.8

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 10-12月期、12月は速報値。
 3. 業種は内閣府にて分類。

2. 個人消費の動向

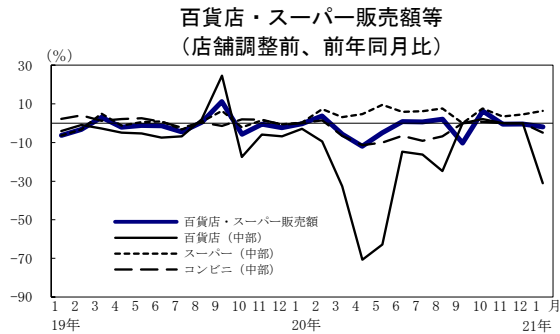
個人消費はこのところ弱含んでいる。

(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

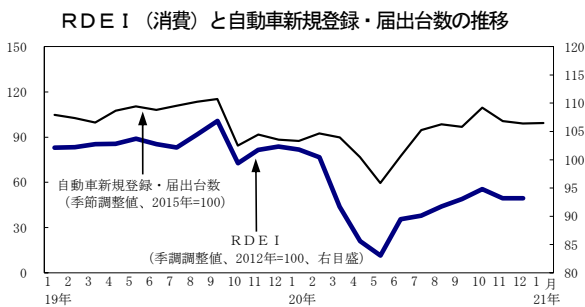
10-12月期は前期比2.3%増となった。月別にみると、10月は前月比1.9%増、11月は同1.7%減、12月は同0.0%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、10-12月期は前年同期比1.5%増となった。月別にみると、10月は前年同月比6.2%増、11月は同0.5%減、12月は同0.4%減となった。



	2020年 10-12月	2020年 10月	11月	12月	2021年 1月
RDEI（消費*1）	2.3	1.9	▲1.7	▲0.0	
百貨店・スーパー(*2)	1.5	6.2	▲0.5	▲0.4	▲2.0
百貨店(*3)	▲9.1	2.1	▲12.8	▲13.0	▲31.2
スーパー(*3)	5.1	7.6	3.5	4.5	6.4
コンビニ(*3)	▲1.8	0.7	▲2.2	▲4.0	▲4.9
乗用車(*4)	16.1	33.4	6.6	11.3	12.7
(季節調整値) (*4)	6.6	12.9	▲8.0	▲1.7	0.5



(備考) 1. 季節調整前前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

2021年1月は速報値。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の中部（富山、石川、岐阜、愛知、三重）の値。

2021年1月は速報値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数（上段は前年同期(月)比 (%)

3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。

